

ご案内 (2025.3 ver.)

デザインとビジネスの交差を イタリアで学ぶ旅

2025年5月開催

DE-TALES Ltd. & knots associates inc.

2025.03.10



日本企業が抱える様々な課題。表面に見えるそうした課題の水面下に潜む何かを知るヒントがイタリアにあるのではないか。2024年9月、そんな興味関心から生まれた旅の企画のトライアルを実施しました。イタリア北部のランゲ地方とデザインの都ミラノを舞台に、地域のビジネスとデザインがダイレクトに結びつく「テリトリー」を体感する、日本企業が新たな視座を得るための挑戦的なプログラムでした。

「テリトリー」とは直訳すると「領土」(territory)ですが、英語のテリトリーが行政の範囲、フランス語のテロワールがワインを作る自然の土壌を重視するのに対し、イタリア語のテリトリーは地域の産業、文化、歴史が結びついた地域全体のアイデンティティの意味を含みます。

「デザインとビジネスの交差をイタリアで学ぶ旅」は、同年12月の実施報告会を経て2025年5月に本格始動いたします。本資料では本プログラムの目的と狙い、第1回プログラム（5月）の実施概要及び実施要綱（予定）についてご説明いたします。

企業が抱える差別化や新規事業開発の課題に対して、単に情報収集するだけではなく、実際に現地の事例に触れ、地域に根ざした取り組みを体感していただくことで、従来の視点を大きく超える発想のヒントを得られることを狙いとしています。本プログラムを通じて、自社の新しい可能性を見出していただくことが最大の目的です。



目次

1. プログラムの背景と目的
2. 期待される効果
3. プログラム実施概要
4. お申込みとお問合せ
5. 主催者ご紹介

1. プログラムの背景と目的

ビジネスとデザインが交差するイタリア

経済・社会の環境がその複雑さを増してゆく中、企業は常に自社の強みをどう磨くかが問われています。今やグローバルな活躍の中にローカルとの繋がりが重視される複雑な時代となりました。この問いを紐解くキーワードのひとつが経営における「デザイン」という言葉。しかし、それが意味するところの理解は容易ではなく、我が国ではデザイン思考などの「手法」の理解に留まっていたと言えるでしょう。

一方で、世界に誇るさまざまなデザインを創出するイタリアは、ビジネスとデザインは深く繋がり合う世界。イタリアの「地域」を一つのモデルとして実際に訪れ体験することにより、デザインとビジネスがどのように交差し意味をもたらすかを感じ取る旅を企画しました。

ランゲ地方 アルバとミラノを訪問

訪問地は北イタリア、ピエモンテ州、ワインで知られるランゲ地方。アルバという街を中心に現地の企業、行政、大学を訪問し、現地の方々との対話の中で様々な気づきを得る体験をします。

アルバでの滞在の後はミラノに移動し、ミュージアム巡りとミラノ工科大学のデザイン学部で教鞭をとる教員によるレクチャーとディスカッション。アルバでの気づきをデザインとビジネスの視点で各自が整理・咀嚼する時間を設けます。

2. 期待できる成果

企業にとって新たな価値創造のための学び

地域の文化や歴史に基づく「テリトリー」の考え方や、イタリアのデザインアプローチに触れることで、自社の企画や開発に独自のストーリーや体験価値を取り入れることにつながる体験となります。こうした直接的なインプットによって、企業としての競争力を高めるだけでなく、参加者個人の視座が高まり、組織全体の活性化を促進する効果が期待されます。

自らの視点で掴み取る気づき

2024年に実施したトライアルプログラムの参加者の口々から語られたのは、「自らの考えを軸にしたビジネス展開」、「全体を見通すデザインのカ」、「すべては行動から始まる」といった言葉の数々。単なる「視察」に留まらない、重要な気づきを得る時間となりました。

それぞれが自らの視点で、自らのファインダーを通した学びの中で、それぞれ掴み取ることは異なります。自分次第の学びの機会です。

外発的動機から内発的動機にもとづく行動へのきっかけ、さらには数字だけでは語れない定性的評価を高める取り組みへのきっかけが生まれることを期待します。

3. -1プログラム実施スケジュール

訪問地：イタリア北部ランゲ地方アルバ（Piemonte州 Langhe地方 Alba）および ミラノ（Milano）

2025年5月25日夜 現地集合（アルバ）

2025年5月31日朝 現地解散（ミラノ）

アルバ（3泊）

5月25日（日）イタリア北部ランゲ地方のアルバ集合

5月26日（月）～28日（水）ランゲ地方の企業、行政機関、食科学大学などを訪問

地域のステークホルダーとの対話を通じて、文化や歴史に根ざしたビジネスモデルの特徴を探り、ワイン産業だけでなくIT系企業など多角的に視察を実施します。

5月28日午後 ランゲからミラノへ移動

ミラノ（3泊）

5月29日（木）ミラノ市内のデザインミュージアムや美術館巡り

5月30日（金）ミラノ工科大学デザイン学部にて特別講義とディスカッション

現地の教員や専門家との意見交換を通じて、アルバでの体験を咀嚼しイタリアにおけるデザインがビジネスに交差することでもたらす意味を見出す時間を設けます。

※オプションプログラム（オプションとして以下のプログラムも企画中です）

1. プログラム終了後ミラノ工科大学でのデザインに関する講義とワークショップ。
2. 1.と同様のコンテンツのオンラインでのプログラム。
3. 本プログラム終了後の継続的なフォローアッププログラム。



3.-2 プログラム実施概要

プログラム費用

50万円/1名 (税別)

(為替の変動、プログラム内容の変更等により金額が変わることがあります)

プログラム費用に含まれるもの

- ・アルバでの視察費用 (移動含む)
- ・プログラム期間内の宿泊費*
- ・プログラム主催の昼食、夕食 (約4回)
- ・ミラノ工科大学でのスクーリング

*ご自身で宿泊をご用意される場合はご相談ください。

プログラム費用に含まれないもの

- ・イタリア往復航空チケット費用
- ・空港からアルバへの交通費
- ・ミラノから空港への交通費
- ・ミラノ市街交通費
- ・その他食費等

定員

8名まで (最低実施人数 5名)

その他詳細は、弊社[ホームページ](#)および[お申し込みページ](#)をご確認ください。

4. お申込みとお問合せ

お申込み期日（定員になり次第締め切りとなります）

2025年3月31日までに以下のフォームにてお申し込みください。

ツアー代振込期限について：お申込み完了後、申込み締切日以降にお支払いに関する情報をメールでお送りいたします。

お申し込みフォーム

以下のフォームに必要事項をご入力の上お申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdpDqzx11HL3sw8sxMuX7UggsjfEfl40XmIX8hKBZ8TJxOnXg/viewform>

お問合せ

本件ツアーについてのご質問等お気軽に以下のアドレスにメールにてお問合せください。

secretariat@knotsassociates.com

渡辺 今日子 (knots associates株式会社)

* 件名「イタリアツアー問合せ」としてご連絡お願いいたします。

なお、本資料の内容は、以下のページでもご覧いただけます。

<https://www.knotsassociates.com/articles/1283/>



5. 主催者ご紹介

安西洋之 De-Tales Ltd.ディレクター

東京とミラノを拠点としたビジネス+文化のデザイナー。欧州とアジアの企業間提携の提案、商品企画や販売戦略等に多数参画してきた。同時にデザイン分野との関わりも深い。2000年代からカーナビなどの電子機器インターフェースの欧州市場向けユーザビリティやローカリゼーションに関わり、デザインを通じた異文化理解の仕方「ローカリゼーションマップ」の啓蒙活動をはじめた。2017年、ベルガンティ『突破するデザイン』の監修に関与して以降、意味のイノベーションのエヴァンジェリストとして活動するなかで、現在はラグジュアリーの新しい意味を探索中。また、ソーシャル・イノベーションを促すデザイン文化についてもリサーチ中である。

著書に、『メイド・イン・イタリーはなぜ強いのか』(晶文社)、『世界の伸びている中小・ベンチャー企業は何を考えているのか?』、『イタリアで、福島は。』(以上、クロスメディア・パブリッシング)、『ヨーロッパの目、日本の目』(日本評論社)。共著に、『新・ラグジュアリー 文化が生み出す経済10の講義』『デザインの次に来るもの』(クロスメディア・パブリッシング)、『「マルちゃん」はなぜメキシコの国民食になったのか?』(日経BP社)。訳書に、マンズーニ『日々の政治』(BNN)『ここちよい近さがまちを変える/ケアとデジタルによる近接のデザイン』(Xデザイン出版)。監修に、ベルガンティ『突破するデザイン』(日経BP社)。

De-Tales Ltd. (<https://www.de-theses.com/>)

渡辺今日子 knots associates株式会社COO

企業人材育成（価値創出/次世代経営者育成/システムデザイン）、プロジェクト支援

- ネットイヤーグループ株式会社 社外取締役
- 慶應義塾大学大学院 特任助教

慶應義塾大学大学院にてシステムズエンジニアリングを学び、2015年より同大学院研究科にて特任助教。ものごとを分野横断的システムとして捉えデザインする方法論、思考法を用いて、企業の新規事業開発、地域創生プロジェクト支援及び人材育成支援。2019年システムデザインコンサルティングファーム 共同創業。2023年よりイタリアミラノにおけるデザインを学ぶべく、現地での対話や体験（design discourse）を重ね、持続的かつ意味のあるシステムデザインを追求中。

knots associates株式会社
(<https://www.knotsassociates.com/>)

参考資料

本プログラムに関連した記事をご紹介します。ぜひご参照ください。

Forbs JAPAN

安西洋之 | Official Columnist

「部分でなく全体を見る。ランゲで知るイタリア「デザイン文化」の強さ」

<https://forbesjapan.com/articles/detail/75354>

knots associates inc. ARTICLES 2024.11.18

「デザインとビジネスの交差をイタリアで学ぶ旅」実施報告 & 次回プログラム案内イベント

<https://www.knotsassociates.com/articles/1177/>

knots associates inc. ARTICLES 2025.2.3

「デザインとビジネスの交差をイタリアで学ぶ旅」イベント(2024.12.9)実施報告記事

<https://www.knotsassociates.com/articles/1229/>



渡辺今日子
Kyoko Watanabe
knots associates Inc.
www.knotsassociates.com

kyoko.watanabe@knotsassociates.com